

## 温室効果ガス削減実施状況報告書

### 1 事業の概要

#### (1) 事業所の名称

瀬戸内共同火力株式会社 福山共同発電所

#### (2) 事業所の所在地

広島県福山市鋼管町1番地

#### (3) 業種

3311 発電所

### 2 計画の期間

本計画の期間は、平成2年度を基準年度とし、平成28年度から平成32年度までの5年間とする。

### 3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量（t-CO<sub>2</sub>），削減率（％）

温室効果ガスの種類	基準年度実排出量 (a)	目標年度 上段：見込量 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：実排出量 (d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))				
	平成2年度	平成32年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成 年度	平成 年度
エネルギー 起源CO <sub>2</sub>	233,103	203,863 12.5	230,085 1.3	222,765 4.4	218,154 6.4	100.0	100.0
非エネルギー 起源CO <sub>2</sub>		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素	1	8 (700.0)	6 (500.0)	7 (600.0)	7 (600.0)	100.0	100.0
その他 温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 実排出量総計	233,104	203,871 12.5	230,091 1.3	222,772 4.4	218,161 6.4	100.0	100.0
温室効果ガス みなし排出量							
実績に対する 自己評価	平成30年度は前年度に比べ、主な燃料である製鉄所からの副生ガス供給量の減少等により、発電電力量が1%減少したため、温室効果ガス排出量が前年度に比べ減少した。						

※ 削減率(c) = ((b)-(a))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標： **送電電力量(MWh)**

温室効果ガスの種類	基準年度の実績 (a)	目標年度 上段：目標 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：原単位実績 (d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))				
	平成 年度	平成32年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度
エネルギー 起源CO <sub>2</sub>		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非エネルギー 起源CO <sub>2</sub>		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他 温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 排出量総計		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
エネルギー消費原 単位 (原油換算 t)	0.2621	0.2394 8.7	0.2383 9.1	0.2373 9.5	0.2352 10.3	100.0	100.0
実績に対する 自己評価							

※ 削減率(c) = ((b)-(a))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

#### 4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

##### ○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1	送電端熱効率の向上	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定期事業者検査工期の短縮</li> <li>・ 所内電力の削減</li> <li>・ 効率向上対策工事の実施</li> </ul>
2	重油使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ H 2年度 60,666 KL</li> <li>・ H28年度 43,420 KL</li> <li>・ H29年度 65,077 KL</li> <li>・ H30年度 91,948 KL</li> <li>・ H32目標 34,271 KL</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保炎用重油量の削減 (H29年度及びH30年度は製鉄所からの副生ガス供給量減少により重油量増加)</li> <li>・ 製鉄所保安電力の低減</li> </ul>
3	電気使用量の削減	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 冷房温度28℃、暖房温度20℃の徹底</li> <li>・ エアコン設置時は、省エネタイプを導入</li> <li>・ 不要時消灯の励行</li> </ul>
4	自動車燃料使用量の削減	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ エコドライブの徹底</li> <li>・ アイドリングストップの徹底</li> </ul>

##### ○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1	該当項目はありません	
2		
3		

##### ○ その他の取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1	廃棄物排出量の削減	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 分別資源化の徹底</li> <li>・ リサイクル品の全量回収</li> </ul>
2	用紙の削減	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ OA活用によるペーパーレス化の促進</li> <li>・ 裏面使用、両面コピーの促進</li> </ul>
3	その他	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 再生紙、再生品の使用の拡大</li> <li>・ エコマーク、グリーンマーク商品の活用</li> </ul>

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。